

今日のストレス

明日の病気

健康な時に「股関節」のことを意識する人など多すぎない。それ

くらい「機能して当たり前」の運動器なのだが、ここにひとたび不調をきたすと、人は何もできなくなる。今回は、ストレスで股関節が壊れかけた人の物語。

股関節痛

Kさん(40)は結婚には興味はないが、お酒は大好き。若い頃から会社が終わるとほぼ毎晩、仲間と飲み歩いていた。

ところが、仲間たちはKさんと違って結婚にも興味がある。ひとり、またひとりと所帯を持つようになり、ついに独身者はKさんだけになってしまった。

人は結婚すると付き合いが悪くなる。Kさんはひとりで飲むことが多くなった。寂しさは酒量を増やす。周囲の心配にも「酒で寿命が縮まるなら、それはそれで構わ

ない」などと、変なところで命がけになったりする。

そんなさびしんぼうの股関節に異変が起きた。左の股関節が痛くて、歩けなくなってしまったのだ。整形外科を受診すると、エッ

クス線の他にMRI検査まで行われ、下された診断は「特発性大腿(たい)骨頭壊死(えし)症」。一体どんな病気なのか、東京・板橋区にある「常盤台らいおん整形外科」院長の小崎直人医師が解説す

部の安静、鎮痛薬の服用で様子を見ることになり、徐々に回復に向かっている。とはいえ、悪化すると手術が必要になり、最悪の場合は股関節そのものを人工関節に置き換えることになるというから穏やかではない。

原因は何なのか。小崎医師が続ける。

アルコールの多飲が関係 骨の一部壊死して潰れる

「明確な原因は分かっている



る。「大腿骨頭の一部分が血流不足で壊死し、体重を支えきれずに潰れる病気です。強い痛みを伴い、特に歩行時や夜間就寝中などにかかり痛みます」。さいわいKさんは早期だったのので、つえの使用、局

だ。(長田昭二)